

1/3.7.9

岸田文雄首相が、昨年12月30日と前日公邸で開かれた親族との忘年会で、自らも写真撮影に応じていたことが発覚

&裸足で参加」と眞由しを立てています。

加した忘年会で起きた出来事を知らないのか、疑惑が生じます。

30日と前日公邸で開かれた親族との忘年会で、自らも写真撮影に応じていたことが発覚しました。2日発売の写真週刊誌『フライデー』が報道。岸田首相は臣下の事実関係を認めたりえで、「公邸の私的なスペース

内で記念撮影を撮じたことが報じられた長男が、1日付で辞職したばかり。岸田首相は、翔太郎氏を「公邸での認識を示してしまいますが、公邸

去年の行動が政務秘書官としての首相勤務の敷地内にあり、迎賓や執務機能を持ち、政治危機管理の中核を担う公的施設で不適切な行為はない」と明確に否認しました。

同誌は、岸田首相と妻の裕子氏、首相の長男で当時政務担当の首相秘書官を務めていた翔太郎氏の親族18人が公邸内で記念撮影をした写真を掲載。「岸田文雄首相は、報道後と知ったと説明しな

で親族と同席したものだ。公的なスペースで

## 首相自身も写真撮影

忘年会  
公邸  
公的施設で

て不適切で、けじめをつけたため交代される」として更迭をしましたが、自らの責任も問われる事態になっています。首相はこれまで、長男の親族が公邸の「公的スペース」で写真撮影をしていたこと

を知らないのか、疑惑が生じます。